

お取引先様各位

令和5年11月24日

hailu 合同会社

代表社員 前上 孝仁

昨今の「大麻グミ」問題に関するご報告

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、昨今話題の「大麻グミ」問題に関して、皆様からのお問い合わせをいただいておりますので、ご報告させていただきます。

結論から申しますと、今回の大麻グミ内の成分「HHCH（ヘキサヒドロカンナビヘキソール）」と「CBD（カンナビジオール）」は全くの別物になります。

「大麻グミ」という名称やメディアの報道の仕方など、CBDを含むすべて同一視した形が混乱を招きやすくなっていますが、「HHCH」は精神作用を有する人工の合成成分であり、「CBD」は精神作用を有さない植物のヘンプ（麻）に含まれる天然の成分であります。

この HHCH やその他人工の合成成分は、数年前から名称や化学式を変え、電子タバコ・グミなどで使用されてきました。化学式を変えることで、その時点での法律には触れないため、合法と謳い販売されてきており、国が規制対象にすると、また化学式を変え別のものが人工的に作られるイタチゴッコ状態が続いております。

一方で CBD は、世界保健機関（WHO）も公式に安全性を証明している精神作用・副作用・依存性のない植物の麻に元々含まれている天然の成分になります。

なぜ同一視されやすいのかというと、

「公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター」の HP にも記載がありますが、上記の人工合成成分は、化学式や精神作用が大麻草に似ていることから、合成カンナビノイドと呼ばれています。また大麻草には確かに元々精神作用のある「THC（テトラヒドロカンナビノール）」という違法対象の天然成分があります。その化学式に近いものを作り、より強い精神作用で法に触れないものを人工的に合成していることが、同一視されやすい背景となります。

弊社が取り扱っている製品には HHCH などの人工合成カンナビノイドは一切含まれていないことをここに宣言し、安心してご使用いただければと存じます。

敬具